

深海の暗闇に浮かぶ 美女の微笑み

捨てられたマネキンの首

宮古沖、日本海溝の海側斜面で、海溝と平行に走るいくつかの亀裂が発見された。地震による地割れでできた亀裂と考えられている。その亀裂のひとつを観察していたとき、「しんかい16500」のライトが白っぽい物体を照らし出した。

「何ですかね、あれは……」

思わずパイロットが研究者に問いかけた。

光のなかに浮かび上がったもの、それは、マネキン人形の首だった。さらに、このすぐ近くで、ビニールのゴミが吹き溜まりのように集まった場所もみつけた。

水深6,278mの海底で見るマネキンの顔は何とも不気味だ。そして、人間社会から遠く離れた深海にまでゴミが及んでいるという事実は、私たちにいっそう悲しい気持ちにさせる。

深海でゴミを見つけるのは、珍しいことではないとパイロットたちは話す。スーパーやコンビニのビニール袋、プラスチック容器といった分解されないゴミは、日本近海の調査で山ほど見かけるそうだ。

1年後、再び「しんかい16500」が同じ場所を調査したとき、マネキンの首は1センチほど埋まっており、イソギンチャクがその上に鎮座していた（写真下）。そして、その5年後、首は完全に堆積物の下に埋もれたことが確認されている。

しんかい16500 潜航番号0067 調査日1991.7.15

深海画像データベース

潜水調査船「しんかい16500」「しんかい2000」、無人探査機「ドルフィン-3K」「かいこう」などで撮影した、膨大な深海底の映像資料をデータベース化したものが「深海画像データベース」です。

その登録画像数は、約16万枚（平成11年8月現在）に及び、このうちの約14万枚がインターネットによって自由に検索でき、広く世界に向けて公開されています（一般に公開している画像は、取得後2年を経過したものに限られています）。

アクセス方法

JAMSTECのホームページ（<http://www.jamstec.go.jp/>）から、「日本語ページ 情報検索サービス 深海画像データベース」の順に選択してください。

海域地図からの検索：トップページで、見たい海域をマウスで選択します。

海域一覧からの検索：トップページで「海域一覧から検索」をクリックし、検索したい海域を指定してください。

検索条件の指定：潜水調査機器、検索年月などを指定し、「検索実行」をクリックします。画面下側に検索結果（航海名、潜水船、潜航番号、アルバム名）が表示されるので、希望のアルバム名をクリックしてください（該当するデータがない場合は、検索条件、検索海域を変更して、再度検索してください）。

一覧表示画面：見たい画像をクリックすると、詳細画面が表示されます。あらかじめ検索したい航海名、または潜航番号がわかっている場合は、これらを直接指定して検索することもできます。

しんかい16500 潜航番号0130 調査日1992.7.19